

ひだかしんきん 地区内経済概況



***** 目 次 *****

業種別総括	24年1月
概 況	1
漁業・水産加工業	2
農業・軽種馬生産業	3
建設業	3
木材・製材業	4
卸・小売業	4
倒産・雇用状況	5
そ の 他	5
指 標	6～7
トピック	8
インフォメーション	9

《 業 種 別 総 括 》

概 況

24 年 1 月

〔漁業〕

- ・ 1月の総水揚げは、漁獲量で前年同月を下回り、漁獲金額で上回った。

〔農業・軽種馬生産業〕

- ・ ジェイエス主催の冬季繁殖馬セールが北海道市場で開かれた。45頭が上場され、売却頭数は33頭。売却総額は8,961万円となった。
- ・ 「オンワード牧場」、「カントリー牧場」が牧場経営から撤退を決めた。
- ・ 庭先売買に、動きはなく低調の様子。馬主、調教師等の訪問もほとんど見られない。
- ・ 花卉は寒い日が続く、出荷量は少ない。
- ・ 三石・えりも両地区の黒毛和牛の出荷状況は、ともに頭数、金額で前年を上回った。

〔建設業〕

- ・ 町発注工事（新ひだか〜えりも地区）は、件数で11件、金額で48百万円の状況。
- ・ 管内における国・道・町発注公共工事の総請負金額（北海道建設業信用保証株の保証請負金額）は550百万円、累計額では17,320百万円の状況。
- ・ 月中建築確認申請件数（新ひだか〜広尾地区）は1件で、累計件数では109件となった。

〔小売業〕

- ・ 静内地区のショッピングセンター「ピュア」が札幌地裁から破産決定を受けた。
- ・ 地元一般小売店は売上の低迷が続く、前年並みからやや減少の業況。一部地域では、地域振興券により売上がやや上向くところもあった。スーパーは、前年並みから微減の業況。コンビニ店は、落ち着きを見せ前年並みからやや増加をしている業況。例年にない寒気の影響で、「葉物野菜」が高値で推移したが、鍋物食材は好調だった。
- ・ 衣料品は、冬物商品の動きが堅調だった。
- ・ ホームセンターでは、凍結対策用品、防寒商品の動きが目立った。カー用品店では、バッテリーの販売が増加した。
- ・ 家電販売店では、電気ストーブ、小型ストーブに例年にない動きがあった。
- ・ 新車登録台数（新冠〜えりも地区）は129台。前年登録台数は108台。

〔雇用〕

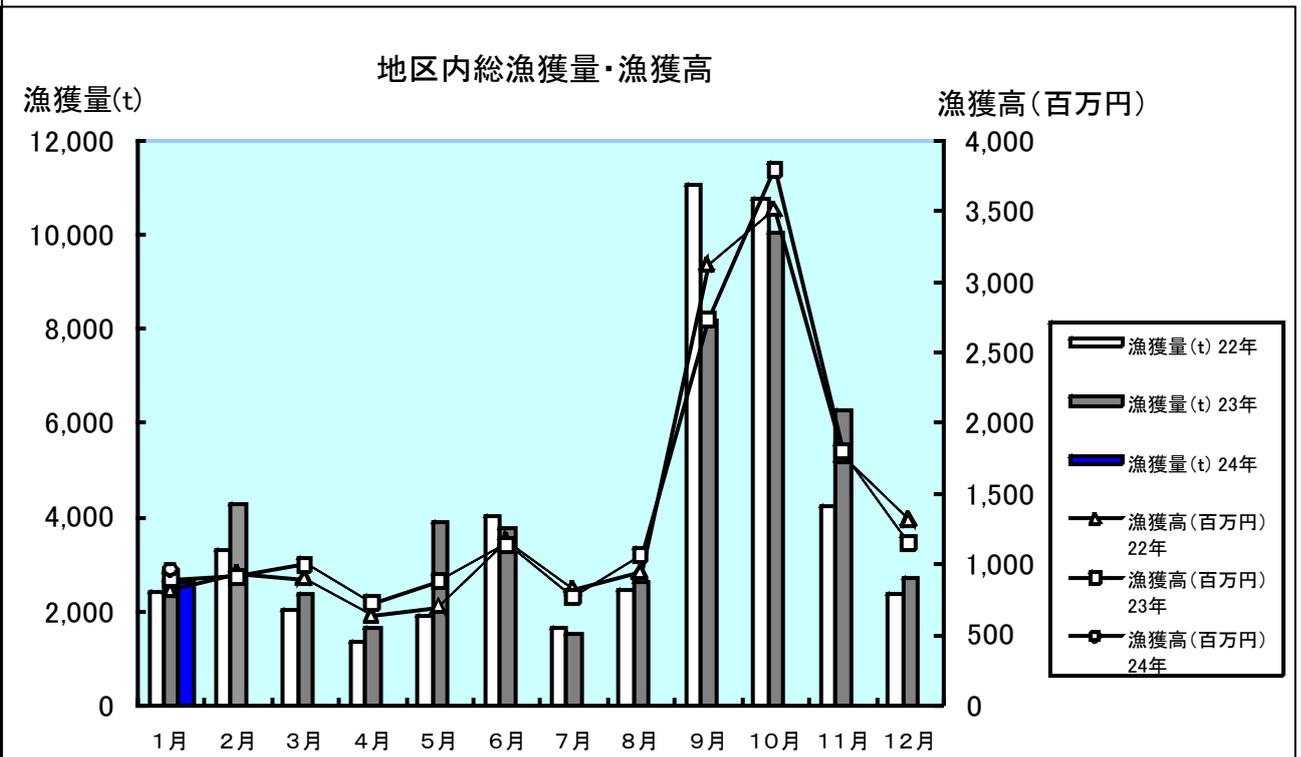
- ・ 月間有効求人倍率は、浦河地区では、前年比・前月比とも低下している。一方、全道の有効求人倍率は、前年同月を24ヶ月連続で上回り、前月比でも上昇している。

〔総括〕

漁業は、対前年比で漁獲量が若干の減少、一方、底曳き網漁、タコ漁、カニ漁等は堅調で漁獲高では前年を上回った。軽種馬業界は、閑散期で庭先での売買も低調。建設業においては、公共工事の月中総請負金額は前年を上回るも、累計額（4-1月期）では同比を下回った。民需でも稼働は低調に推移した。管内の新車登録台数は、昨年9月から5ヶ月連続で前年を上回っている。雇用情勢では、当地区の有効求人倍率に改善の動きは見られず、依然として厳しい状況にある。1月の地区内経済概況は、個人消費の一部に回復の兆しが見えるものの、地元ショッピングセンターが営業を停止するなど、小売業は総じて低調に推移している。また地場産業等の回復の遅れ等、依然として先行きに不透明感が残り、足踏み状態が継続されている。

漁業・水産加工業

* [沿岸漁業] たこ、かれい漁等。[沖合い漁業] 底曳き網、つぶ、毛かに漁等。
 総漁獲量2,631 t・金額958百万円(前年同月比31 t減・62百万円増)。



底曳き網漁……………	1,087 t・100百万円	(前年同月比	198 t増・9百万円増)
かれい漁……………	116 t・53百万円	(同	15 t増・6百万円増)
たこ漁……………	261 t・131百万円	(同	74 t増・49百万円増)
つぶ漁……………	86 t・62百万円	(同	31 t減・7百万円減)
うに漁……………	11 t・10百万円	(同	6 t増・4百万円増)
ほっき漁……………	15 t・4百万円	(同	37 t減・10百万円減)
タラスケソ漁……………	657 t・76百万円	(同	315 t減・41百万円減)
毛かに漁……………	117 t・183百万円	(同	29 t増・30百万円増)
ほっけ漁……………	66 t・4百万円	(同	52 t増・増減なし)
昆布漁……………	197 t・321百万円	(同	29 t減・22百万円増)
その他……………	18 t・14百万円	(同	7 t増・増減なし)

- ・ 1月の総水揚げは、漁獲量で前年同月を下回り、漁獲金額で上回った。前年に比べ、内訳として底曳き網漁、たこ漁、かに漁、うに漁等で数量・金額ともに増加した。一方、タラスケソ漁、つぶ漁、ほっき漁では、数量・金額とも減少した。昆布は数量が減少したが、品薄での高値が続き金額では増加となっている。一部地区では「うに」の価格が大幅に前月から下落している。
- ・ えりも町では、毛かに籠網漁の最盛期を迎えている。漁獲量は前年並みで、2月下旬までが漁期。

(対象は新ひだか、浦河、様似、えりも、広尾の各地区) (「t」はトンを表しています)

農業・軽種馬生産業

* [軽種馬生産業]

- ・ ジェイエス主催の「冬季繁殖馬セール2012」が北海道市場で開かれた。45頭が上場され、売却は33頭、売却率は73.3%、売却最高額は1,060万円(税込)で取引総額は8,961万円(同)となった。平均価格は、258万円(同)で前年を80万円上回った。
- ・ オンワードガイ号、ウオッカ号などの名馬を輩出した「オンワード牧場」、「カントリー牧場」の両牧場が長年の牧場経営に幕を下し撤退を決めた。
- ・ 出産シーズンに入った。出産時期は1月～6月で、3月がピーク。今年は、約5,500頭が生まれる予定。

* [農業]

- ・ 1月の花卉の出荷量は、16千本(前年27千本)・出荷金額104万円(同128万円)。1本当たり平均価格は65円(同47円)前年を上回る。寒い日が続き出荷量は少ない。

* [畜産業]

- ・ 黒毛和牛は、三石地区で出荷頭数95頭(前年68頭)、金額4,663万円(同3,009万円)の状況。価格は仔牛が42万円(前年同額)、肥育牛は73万円(同58万円)で前年を大幅に上回った。えりも地区は10ヶ月素牛が出荷頭数31頭(前年25頭)、金額は1,171万(同1,025万円)。価格は牡が46万円(前年47万円)、牝が31万円(同37万円)で前年をやや下回った。

建設業

* [公共工事]

- ・ 町発注(新ひだか～えりも地区)工事は、件数11件(前年6件)、金額で48百万円(同37百万円)。件数、金額とも前年を上回った。
- ・ 管内の、国・道・町発注公共工事の総請負金額は、550百万円(北海道建設業信用保証㈱の保証請負金額)。前年同月比110百万円・25.1%上回った。4月からの累計総額は、17,320百万円。同比2,192百万円・11.2%下回っている。

* [建設業]

- ・ 個人住宅は、冬場になり稼働は低調。一部地区では、大手ハウスメーカーが地主を訪れアパート等建築の交渉をするなどの動きがあった。
- ・ 設備工事業者は水道凍結工事のため例年になく稼働が増えている。
- ・ 土木業者のうち東日本大震災の被災地への職員派遣を予定している業者もある。
- ・ 除雪、排雪の稼働は、例年並みとなっている。

* [建築確認申請]

- ・ 月中受付建築確認申請件数(新ひだか～広尾地区)は1件(前年同月3件)、累計(4-1月)109件(同104件)となっている。

木材・製材業

* [木 材]

- チップ材の出荷(広尾地区)は、総数量が575 t(前年507 t)で前年比13%の増加。総金額では9,068千円(同8,299千円)で同9%の増加となった。

* [製 材]

- 建築資材は、閑散期で総体的に稼働低調。受注も平年並みに留まっている。

卸・小売業

* [卸売業]

- 野菜の入荷状況は、8割が本州産であり、長ネギ、キャベツ、ハクサイ、ニンジン、ダイコン等は若干の高値で入荷されている。道内産のイモ、タマネギ、ナガイモ等もやや高値で入荷されている。果物は全般的に本州産であり、ブドウ、リンゴ、ナシ、ミカン等が入荷されている。価格は落ち着きをみせ、昨年並みとなっている。浦河産、様似産のイチゴが入荷されているも、数量は少ない。

* [小売業]

- 1月は平均気温が低く、寒気の影響を受けたハクサイやハウレンソウ、キャベツなど「葉物野菜」が高値で推移し、スーパーでは、「カット野菜」の商品を増やし、手頃な価格に設定した。生タラ等の鍋物食材は好調だった。成人の日などの寿司、オードブルなどパーティメニューを品揃えしているが、年次売上は減少傾向にある。コンビニ店でも野菜高の影響を受け、安価な価格帯で購入できる個食サラダ、総菜等が好調であった。
- 静内地区のショッピングセンター「ピュア」が札幌地裁から破産決定を受けた。地元一般小売店は地域振興券により売上を伸ばしている地区もあるが、総じて厳しい状況が続いている。
- ホームセンターでは厳しい冷え込みで、凍結対策用品や、防寒商品の売行きが好調。また、車用品店では、バッテリーの販売が前年比増加した。
- 新車登録台数(新冠～えりも地区)は、129台で前年比11台の増加。月中の新車登録台数は5ヶ月連続の前年越えとなった。
- 飲食業は、企業の新年会も最近では縮小、減少傾向にあり概ね低調であった。

倒産・雇用状況

*〔管内の倒産〕

- ・当金庫管内(新冠町～えりも町)の倒産件数は1件(前年同月1件)、負債総額は9千万円(同7千万円)。
- ・当金庫管内を含む苫小牧管内の倒産は4件(同5件)、負債総額は2億1千万円(同5億3千万円)。

*〔道内の倒産〕

- ・北海道の倒産件数は33件(前年同月39件)。負債総額35億2千万円(同97億2千万)。

*〔全国の倒産〕

- ・全国の倒産件数は985件(前年同月1,041件)、負債総額は3,493億6千万円(同2,364億円)となった。1月としては1999年(976件)以来、13年ぶりに1,000件を下回る低水準となった。東日本大震災関連倒産は40件で、1月までの累計は583件となった。

*〔雇用〕

- ・1月の浦河地区の月間有効求人倍率は0.61倍で、前年比、前月比ともに0.01ポイント低下した。求人数は、601人で前年比35人、前月比88人の減少となった。
- ・全道の月間有効求人倍率は0.51倍で、前年比0.09ポイント、前月比0.02ポイントの上昇となった。

その他

*管内生産馬、中央競馬重賞レース勝馬

- | | | |
|--------|-------------------------------|------|
| 1 / 5 | 第50回 スポーツニッポン賞京都金杯 | (GⅢ) |
| | マイネルラクリマ号 (新ひだか町 武牧場 殿生産) | |
| 1 / 22 | 第19回 平安ステークス | (GⅢ) |
| | ヒラボクキング号 (浦河町 辻牧場殿 生産) | |
| 1 / 28 | 第17回 シルクロードステークス | (GⅢ) |
| | ロードカナロア号 (新ひだか町 ケイアイファーム 殿生産) | |
| 1 / 29 | 近代競馬150周年記念 第26回根岸ステークス | (GⅢ) |
| | シルクフォーチュン号 (新冠町 中地義次 殿生産) | |

*十勝港の2011年の輸出入総額が前年の2.1倍の153億9千万円に達し、過去最高となった。輸入(149億円)は、10年秋に丸紅などが同港で稼働させた配合飼料コンビナートで使う原料が急増したことによる。一方、輸出(4億円)は前年の2倍で、韓国向けの鉄クズが増えている。

*金融広報委員会の2011年「家計の金融行動に関する世論調査」の結果発表によると、2人以上の世帯で、預貯金や株などの金融資産を「保有していない」と回答した割合は、前年比6.3ポイント上昇の28.6%と過去最悪を記録した。一方、金融資産を持つ世帯の平均保有額は最高となり、二極化が進んだ。

(注) 調査区域：浦河地区、新ひだか町静内地区及び三石地区、新冠地区、様似地区、えりも地区、広尾地区

《指 標》

1 営業区域の人口・世帯数動向 (平成24年1月現在)

(単位:人)

町 村 別	人 口			世 帯		
	人 数	前年同月比	前 月 比	世 帯 数	前年同月比	前 月 比
平 取 町	5,617	-13	-8	2,603	15	-3
日 高 町	13,645	-111	-20	6,614	-23	-8
新 冠 町	5,815	-41	-4	2,652	35	-4
新ひだか町	25,259	-390	-28	12,219	-85	-6
浦 河 町	13,918	-283	-23	6,969	-69	-13
様 似 町	5,051	-194	-15	2,324	-15	-5
え り も 町	5,397	-86	-3	2,176	-20	-5
日高地区合計	74,702	-1,118	-101	35,557	-162	-44
広 尾 町	7,945	-139	-11	3,520	8	0
大 樹 町	5,977	-82	-8	2,625	-10	-5
日高・十勝地区合計	88,624	-1,339	-120	41,702	-164	-49
札 幌 市	1,905,842	8,636	-206	977,107	12,597	7
江 別 市	121,504	-593	-22	54,030	430	50
石 狩 市	60,694	-331	-55	26,584	157	-18
北 広 島 市	60,473	-71	-29	26,135	187	6
恵 庭 市	68,941	82	-4	30,603	228	-1
千 歳 市	94,385	557	17	44,996	550	2
石狩地区合計	2,311,839	8,280	-299	1,159,455	14,149	46
苫 小 牧 市	174,215	91	-4	83,798	1,129	43
厚 真 町	4,833	-59	-19	2,050	6	-1
む か わ 町	9,518	-142	-22	4,460	0	-10
胆振地区合計	188,566	-110	-45	90,308	1,135	32
営業区域合計	2,589,029	6,831	-464	1,291,465	15,120	29

(資料所:各町村)

2 労働需給状況(平成24年1月)

(単位:人、%)

	浦河職安	全 道	前年同月比		前 月 比	
			浦 河	全 道	浦 河	全 道
月間有効求人数	601	54,995	6.18	20.11	17.15	8.59
月間有効求職者数	984	107,377	8.49	-2.24	19.71	2.95
月間有効求人倍率	0.61	0.51	-0.01	0.09	-0.01	0.02

(資料所:浦河公共職業安定所)

3 建築確認申請(平成24年1月)

(単位:件)

		件 数	前年同月比	前 月 比
当 金 庫 管 内	当 月 の 申 請	1	-2	-3
(新ひだか町～広尾町)	23/4～24/1 累計	109	5	

(資料所:各町村)

4 企業倒産状況(平成24年1月)

(単位:件、千万円)

	件 数	金 額	前年同月比(件数)	前年同月比(金額)	業 種	地 区
苫小牧管内	4	21	-1	-32	小売業1件、建設業1	苫小牧1件、千歳市1件
うち新冠町～えりも町	1	9	0	3		
北 海 道	33	352	-6	-620		
全 国	985	34,936	-56	11,296		

(資料所:札幌工サチ)

トピック

日高振興局からのお知らせ

日高振興局では、地域の特色や優位性を皆様に広くアピールさせていただくため、農業、林業、水産業、商工業など幅広い分野で、日高のすばらしさを紹介しています。

今回は、農業分野の取組について紹介します。

中国への軽種馬輸出に向けた取組について

我が国の軽種馬生産は世界第5位の規模を誇り、日高地域はその8割の生産を担う世界有数かつ我が国最大の馬産地となっています。また、軽種馬生産は管内農業産出額の6割を占める最重要品目となっており、関連産業を含め日高経済全体において、大きな役割を果たしています。

一方、中央・地方競馬の売上が長期的に減少し続ける中、日高の軽種馬生産は5,700頭(H22年)とピーク時(H4年)の約6割まで減少し、市場での販売価格も390万円/頭(H23年)と10年前の640万円/頭から大幅に低落するなど、軽種馬生産を巡る情勢は年々厳しさを増しています。

このように軽種馬情勢の厳しさが増す中、日高軽種馬農協を始めとした産地関係団体では、軽種馬需要の拡大に向け、JRAなど在京競馬関係団体とも連携をとりながら、中国への軽種馬輸出に向けた取組を進めています。

中国では、馬券の販売を伴う「商業競馬」は行われていませんが、近年、経済発展が進む中、馬主同士が賞金(参加費を原資)や名誉を競い合う「速度競馬」に加え、都市部では「乗馬」が盛んに行われ、中国人富裕層において、馬の需要が高まっています。

平成22年3月、8年ぶりに日高産軽種馬(51頭)が中国に輸出され、中国の速度競馬で活躍したのを契機に、中国国内で日高産軽種馬の人気の高まり、平成23年3月までに100頭以上の軽種馬が中国に輸出されました。特に平成22年10月、新ひだか町の軽種馬市場(北海道市場)において、中国人実業家が軽種馬18頭を購入した際は、全国的に大きな衝撃を与えたところです。

このように中国への軽種馬輸出の機運が盛り上がり、関係団体がさらに取組を加速させようとしていた矢先に東日本大震災が発生し、軽種馬も他の農産物と同様、実質的に輸出が困難となり、既に売却の決まっていた軽種馬までキャンセルされるなどの問題も発生しましたが、関係者の努力により5月には軽種馬13頭が輸出されました。

その後、6月には産地関係者団体と在京競馬関係団体に、行政機関(農林水産省、日高振興局)も加わり、北京で日高産軽種馬のプロモーション活動を実施するなど、軽種馬の輸出に向けた取組が進められた結果、10月には中国人実業家が北海道市場を訪問し、10頭の日高産軽種馬が購入されました。

さらに、産地関係団体を中心に、上海の中国国際馬博覧会において、日高産軽種馬のPR活動を実施するなど、オール日高・オールジャパンとして、中国という新たな市場の開拓・確立に向けた取組を積極的に進めているところです。

【中国への馬輸出頭数】

○ H12. 10月 : 22頭、H14. 12月 : 21頭

○ H22. 3月 : 51頭、H22. 10月 : 30頭、H23. 3月 : 30頭

—東日本大震災の発生—

○ H23. 5月 : 13頭(16頭キャンセル)、※ H23. 10月 : 10頭売却(輸出予定)

インフォメーション

※ 「東北地方太平洋沖地震」の義援金取扱中！

- ◎ 取扱期間：平成23年3月15日(火)～平成24年3月30日(金)まで
- ◎ 寄付先：日本赤十字社
- ◎ 手数料：無料
- ◎ 受領書：受領書の必要な方は後日、日本赤十字社から直接ご依頼人に送付されます。

※ ひだかしんきん「創立90周年記念住宅ローン」キャンペーン中！

キャンペーン適用金利 最優遇金利 年0.95% (保証料は別途加算)

- ◎ 取扱期間：平成23年10月3日(月)～平成24年3月30日(金)まで
- ◎ 資金用途：住宅新築・購入・リフォーム・他行借換え・住宅に係る諸費用・保証料等。
- ◎ 融資金額：資金用途、保証条件等により最大8,000万円以内。
- ◎ 融資期間：1年以上35年以内(資金用途及び建物の構造により期間が変更となります)。
- ◎ 種類：①固定金利特約型(有担保 固定金利特約期間 ～3年 5年 7年 10年)
②変動金利無担保扱い
- ◎ 返済方法：元金均等または元利均等返済方式。ご返済金額の50%までボーナス併用返済可能。
- ◎ 保証人：(社)しんきん保証基金及び全国保証㈱の保証を受けれる場合、原則保証人不要
- ◎ 融資対象者：満20歳以上で当金庫の条件に合致する方、保証会社の保証が得られる方。

※ ひだかしんきん「創立90周年記念教育ローン」キャンペーン中！

キャンペーン適用金利 最優遇金利 年1.9% (保証料は別途加算)

- ◎ 取扱期間：平成23年8月1日(月)～平成24年4月27日(金)まで
- ◎ 資金用途：1年分の就学納付金、就学にかかる付帯費用、教育関連借入の借換え資金。
- ◎ 融資金額：500万円以内。
- ◎ 融資期間：最長10年以内。
- ◎ 返済方法：毎月元利均等又は元金均等返済。ご融資金額の50%まで半年毎ボーナス併用償還も可能。
元金据置期間は卒業予定年月まで、かつ4年7ヶ月を限度とします。
- ◎ 保証料：保証会社の定めによる料率。保証料が別途かかります。
- ◎ 融資対象：満20歳以上の方で、「保証会社」等の保証が得られる方。

※ 創立90周年記念第13回懸賞金付き定期預金 懸賞総額400万円

「Newスーパーチャンス」キャンペーン中！

- ◎ 取扱期間：平成23年12月9日(金)～平成24年3月30日(金)まで
- ◎ 対象者：個人のお客様のみです。当金庫に普通預金(貯蓄預金を含む)をお持ちの方とします。
- ◎ 預金種類：スーパー定期預金1年もの自動継続定期預金(証書式)とします。
- ◎ お預入金額：10万円以上、1,000万円未満のお預入とします。
- ◎ 懸賞金の税金：懸賞金から、20%(国税15%、地方税5%)の税金が徴収されます。

※ 詳しくは、当金庫窓口にお尋ねください。



ひだかしんきん営業のご案内

ATM	本店	〒057-0013 浦河郡浦河町大通2丁目31の2	☎ (0146) 22-4111
ATM	堺町支店	〒057-0034 浦河郡浦河町堺町西1丁目83の59	☎ (0146) 22-5611
ATM	静内支店	〒056-0016 日高郡新ひだか町静内本町1丁目1の15	☎ (0146) 42-1531
ATM	三石支店	〒059-3108 日高郡新ひだか町三石本町197の23	☎ (0146) 33-2311
ATM	様似支店	〒058-0014 様似郡様似町大通2丁目35の2	☎ (0146) 36-2341
ATM	えりも支店	〒058-0204 幌泉郡えりも町字本町170の1	☎ (01466) 2-2311
ATM	広尾支店	〒089-2615 広尾郡広尾町本通8丁目7の1	☎ (01558) 2-3161
	札幌支店	〒060-0004 札幌市中央区北4条西5丁目1-4 三井生命札幌共同ビル4階	☎ (011) 200-7070

ATM 営業時間 平日 8:45~18:00

土曜日 ATM 稼働店: 本店・堺町支店・静内支店・三石支店・様似支店・えりも支店・広尾支店

土曜日 ATM 営業時間 9:00~17:00

日曜・祝日 ATM 稼働店: 本店・静内支店

日曜・祝日 ATM 営業時間 9:00~17:00

店外 ATM

浦河町役場内 ATM 浦河郡浦河町築地 浦河役場内1階ロビー

店外 ATM 営業時間 平日 9:00~16:00

浦河赤十字病院内 ATM 浦河郡浦河町東町 浦河赤十字病院内1階ロビー

店外 ATM 営業時間 平日 9:00~18:00

パセオ堺町店内 ATM 浦河郡浦河町堺町 店内フロア

店外 ATM 営業時間 平日・土曜・祝日 10:00~19:00 日曜 9:00~19:00

マックスバリュ静内店内 ATM 日高郡新ひだか町静内木場町 店内フロア

店外 ATM 営業時間 平日・土曜・日曜・祝日 9:00~19:00

歌笛出張所 ATM 日高郡新ひだか町三石歌笛 (旧歌笛支店)

店外 ATM 営業時間 平日 9:00~18:00 土曜 9:00~14:00



業務部地域貢献課

〒057-0013 浦河郡浦河町大通2丁目31の2

電話 (0146) 22-4114

FAX (0146) 22-6106

URL <http://www.shinkin.co.jp/hidaka/>